

○議長（茅沼隆文）

議案第１９号 平成３１年度開成町一般会計予算について、討論を行います。
討論のある方は、いらっしゃいますか。

佐々木議員、反対の討論ですか、賛成討論ですか。

それでは、佐々木議員、どうぞ。

○１番（佐々木昇）

議員番号１番、佐々木昇です。

議案第１９号・平成３１年度開成町一般会計予算について、賛成の立場から討論を行います。

政府は、平成３１年度予算編成の基本方針として、アベノミクスの推進により、日本経済は大きく改善し、企業収益は過去最高を記録するとともに、就業者数の増加、賃上げなど、雇用・所得環境は大きく改善する一方、通商問題の動向や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があるとしています。

本町では、このような社会情勢の中で、第五次開成町総合計画後期基本計画のスタートの年度である平成３１年度開成町当初予算は、「新時代の幕開け未来に羽ばたく予算」とし、「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」の実現に向けた更なる施策の推進を図るとし、次代の社会を担う子どもたちの健やかな成長を支える取組みを一層推進していくこととしています。

当初予算では、「子育て支援・教育環境の更なる充実」・「北部地域活性化の推進」・「新庁舎整備の推進」を主な柱とし、引き続き重点的に財源を配分するとともに、２年目となる枠配分方式を採用し、予算編成がなされました。

会計別の予算額では、一般会計予算総額は、７６億３千５百万円で、対前年度比２６．０％の１５億７千７００万円の増加となりました。

歳入においては、個人町民税が人口増加により、前年度比、町税３千２５万７千円の増加、法人町民税は、企業業績の好調により前年度比、１億３１５万円の増加であります。また、固定資産税は、みなみ地区などの宅地化により家屋分は増収を見込んでおり、町税全体では、前年度比、５．２％の増加となっています。

当初予算の事業概要をみると、子育て支援策の新規事業として、０から３か月児のサロンの実施、産婦健康診査費用の助成、産後ケア事業の支援、発達専門相談事業の実施。また、幼児教育では、幼稚園での３年教育の導入があります。これらは、子育て支援の充実を図るものであり大変評価するものです。

また、町民サービスの向上を図るため、コンビニ交付サービスの導入や町民との情報共有の向上ため、町公式ホームページのリニューアルが実施されます。

特徴的な事業として、日本一健康な町を目指すため、「健康づくりプロジェクト」を立ち上げ、健康寿命の延伸を図るとしています。また、災害に強いまちづくりを推進するため、防災行政無線アナログ方式からデジタル方式に更新します。

観光の推進においては、あしがり郷拠点整備事業として施設の整備及び駐車場拡大のための再整備は、町の観光や地域の活力の創出する施設整備が図られる予算であり

ます。町の観光施策の充実した事業が実施されることを期待したいと思います。

また、新庁舎建設においては、耐震性能を有し、災害応急活動拠点としての公共施設であり、環境省の補助制度を活用し、公共施設として日本で初めてのZEB、ゼロ・エネルギー・ビル、として建設されます。建設後の新庁舎供用開始に向け、更なる町民サービス向上を図っていただきたいと思います。

平成31年度の町政運営並びに当初予算案は、第五次開成町総合計画後期基本計画に掲げた施策の推進を図るものであります。

よって、平成31年度、新元号が施行される新時代の幕開けの予算として、充実した町民サービス事業が展開されることを切に期待しまして、私の賛成討論といたします。

○議長（茅沼隆文）

ほかに討論はございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

討論がないようですので、以上で討論を終了し採決を行います。